

令和4年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和3年度 個性ある区づくり推進費

決算状況



令和4年8月31日

神奈川県 神奈川区

目 次

| | ページ |
|--------------------------------------|-----|
| 1 令和3年度神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書 | 1 |
| 2 令和3年度神奈川区自主企画事業等実績 | 2 |

令和3年度 神奈川区個性ある区づくり推進費 決算調書

1 区分別総括表

(単位：円)

| | 予算額 | 決算額 | 差引 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|
| (1) 自主企画事業費 | 106,681,000 | 102,950,846 | 3,730,154 |
| (2) 統合事務事業費 | 48,560,000 | 48,179,543 | 380,457 |
| 統合事務費 | 28,072,000 | 29,544,317 | △ 1,472,317 |
| 統合事業費 | 20,488,000 | 18,635,226 | 1,852,774 |
| (3) 区庁舎・区民利用施設管理費 | 585,700,000 | 585,873,997 | △ 173,997 |
| 合 計 | 740,941,000 | 737,004,386 | 3,936,614 |

2 内 訳

《区づくり推進費 執行率 99.5%》

(1) 自主企画事業費 102,950,846円 (予算額 106,681,000円) 差引 3,730,154円

(単位：円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 引 | 主な増減理由 |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------------|
| 4つの施策 | | | | |
| I 安全・安心なまちづくり | 36,063,000 | 36,420,238 | △ 357,238 | 風水害時の避難場所へ簡易テントを配備したことによる増 |
| II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり | 18,938,000 | 14,194,180 | 4,743,820 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業やイベント中止等による減 |
| III 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり | 9,627,000 | 6,967,914 | 2,659,086 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業やイベント中止等による減 |
| IV 地域の力やつながりをはぐくむまちづくり | 27,782,000 | 21,690,333 | 6,091,667 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業やイベント中止等による減 |
| V 共感と信頼の区役所 | 14,271,000 | 23,678,181 | △ 9,407,181 | 窓口や庁舎の環境改善を実施したことによる増 |
| 合 計 | 106,681,000 | 102,950,846 | 3,730,154 | (32事業) |

(2) 統合事務事業費 48,179,543円 (予算額 48,560,000円) 差引 380,457円

(単位：円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 引 | 主な増減理由 |
|----------------|------------|------------|-------------|-----------------------------------|
| 統合事務費 ※1 | 28,072,000 | 29,544,317 | △ 1,472,317 | 郵送手続きの増加に伴う通信運搬費の増 |
| 統合事業費 (8事業) ※2 | 20,488,000 | 18,635,226 | 1,852,774 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業やイベント中止等による減 |
| 合 計 | 48,560,000 | 48,179,543 | 380,457 | |

※1…生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費 ※2…18区共通で実施している事業で局から統合された事業費

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 585,873,997円 (予算額 585,700,000円) 差引 △173,997円

(単位：円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 引 | 主な増減理由 |
|------------------|-------------|-------------|-----------|----------------------------------|
| 1 区庁舎等 | 81,035,000 | 81,671,039 | △ 636,039 | 委託契約実績の増 |
| 2 土木事務所 | 8,368,000 | 8,623,041 | △ 255,041 | 委託契約実績の増 |
| 3 公会堂 | 35,499,000 | 35,523,750 | △ 24,750 | 室内化学物質濃度測定委託による増 |
| 4 地区センター等 | 196,811,000 | 195,519,550 | 1,291,450 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業の戻入による減 |
| 5 ログハウス | 8,201,000 | 8,174,000 | 27,000 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業の戻入による減 |
| 6 区民文化センター | 115,371,000 | 115,371,000 | 0 | |
| 7 老人福祉センター | 25,682,000 | 24,976,600 | 705,400 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業の戻入による減 |
| 8 コミュニティハウス | 54,252,000 | 54,262,470 | △ 10,470 | 室内化学物質濃度測定委託による増 |
| 9 スポーツセンター | 51,601,000 | 51,649,025 | △ 48,025 | 目的外使用許可還付金による増 |
| 10 広場・遊び場 | 1,380,000 | 2,018,150 | △ 638,150 | 「星野橋子どもの遊び場」現状復旧作業による委託の増 |
| 11 その他 | 0 | 49,500 | △ 49,500 | 六角橋公園集会所の室内化学物質濃度測定委託による増 |
| 12 区庁舎・区民利用施設修繕費 | 7,500,000 | 8,035,872 | △ 535,872 | 修繕箇所増加による増 |
| 合 計 | 585,700,000 | 585,873,997 | △ 173,997 | |

～令和3年度神奈川区自主企画事業等実績～

I 安全・安心なまちづくり 36,420,238円（予算額36,063,000円）

- 1 地域防災力向上事業 重点
- 2 神奈川区防犯対策事業 重点
- 3 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）
- ② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ⑥ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ⑦ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑧ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑨ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑪ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

1 地域防災力向上事業 29,188,050 円（予算額 26,357,000 円） ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進するとともに、防災への関心を高めるため、次世代・多世代に対する啓発を進めました。また、地域、医療機関等と連携して地域防災力の向上を図りました。

(1) 地域防災力の強化

ア 自助の推進

(ア) 窓ガラス飛散防止普及啓発事業（通年）

大地震、風水害時に窓ガラスの破損による負傷を防ぎ、自宅で避難生活を送ることができるよう、日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置支援事業を促進（22 件）



窓ガラス飛散防止フィルム
施工作業

(イ) 乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう、家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布（耐震ジェルマット 2,000 個作成・配布）

(ウ) 防災アドバイザー派遣事業（11 件）

(エ) 不燃化推進地域等における感震ブレーカー設置促進事業（89 個）

(オ) 「自分でつくる my 防災マップ」作成支援

イ 共助の推進

(ア) 地域防災拠点の機能強化（通年）

運営委員向け研修

応用編… 5 月 25 日（11 人）、5 月 29 日（13 人）

基礎編… 6 月 30 日（25 人）、7 月 3 日（20 人）

運営マニュアルの改訂支援（5 拠点）

地域防災拠点の環境整備（8 件）

(イ) 共助推進事業（48 件）

町の防災組織が実施する防災活動や防災資機材購入にかかる費用を補助

ウ 次世代への防災教育

中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援

エ 多世代の防災意識向上

区 PTA 連絡協議会と協力し、子育て世代向け防災ガイドを活用した防災意識向上の取組を実施

オ 神奈川区内鉄道事業者等による災害対策検討会議（8 月 31 日書面開催）

カ 新子安・子安通 1 丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会（10 月 6 日書面開催）



運営委員向け防災講座

(2) 区役所災害対応力の強化

ア 区内準用河川の監視体制の強化

入江川第二派川に水位計を設置し、横浜市の水防災システムに連携させることで、区民に適切な情報を提供するとともに、区災害対策本部で水位情報をリアルタイムに把握し、迅速に避難情報を発令できるようにしました。（9月30日設置完了）

また、滝の川に量水標を設置しました。



入江川第二派川 水位計

イ 職員向け訓練・研修

(ア) 転入職員向け研修、即応班研修

(4月1日、13日、19日、22日)

(イ) 風水害避難場所運営訓練 (6月29日)

(ウ) 地域防災拠点参与等研修 (6月3日、4日)

(エ) 地域防災拠点動員者向け研修 (7月21日)

(オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練 (1月21日)

(カ) 区本部各班訓練 (3月11日)



風水害避難場所運営訓練
(簡易テント設置等)

ウ 区本部運営に必要な物資の整備

感染症対策物品等の購入

(3) 医療初動体制の整備

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川県災害医療連絡会議 (1回目 中止、2回目 書面開催)

イ 災害医療の訓練や区民啓発

(ア) 区災害医療訓練 (中止)

(イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練

(8月27日、10月22日、12月10日、2月4日)

(ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施 (随時)

(エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練の実施 (9月)

(オ) 他区との通信訓練 (鶴見区と合同開催) (中止)

(カ) Yナース募集について広報区版へ掲載 (令和3年8月号)

(4) 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図りました。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援しました。

ア 新規協定締結の促進《令和4年3月末 名簿提供団体：108団体》

(ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結 (随時)

(イ) 災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報保護と活用に関する研修会 (10月～11月 計3回)

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付 (随時)

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成 (3団体)

(5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）について、新型コロナウイルス感染症対策に係る備蓄品が不足しているため、災害時に備えて必要物品を配備しました。

また、福祉避難所運営体制の強化を目的とした、避難所協定締結施設を対象とする連絡会等の開催に取り組みました。

ア 新型コロナウイルス感染症対策に係る必要物品の配備【新規】

各施設の意向を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策物品を配備（6月18日完了）

- ・ 区配布物品：アルコールタオル、アルコール消毒液、マスクほか

イ 福祉避難所運営体制の整備《令和4年3月末現在 福祉避難所協定締結数：21施設》

- (ア) 福祉避難所協定締結施設向け連絡会（第1回11月30日web開催、第2回 中止）
- (イ) 福祉避難所協定締結施設向け研修会（中止）
- (ウ) 福祉避難所情報共有システムを活用した開設情報等受伝達訓練（第1回：5月20日、第2回 中止）

(6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援（通年）

- (ア) 地域防災拠点運営委員長向け研修会（5月25日、29日）等にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- (イ) 「神奈川区地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン（令和元年9月改訂）」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援
- (ウ) 具体的な対策の検討を進めている拠点数か所に対し、その地域のペットの飼い主の意識調査を行い、実際に飼育管理を行うことになる飼い主の考えを参考にするとともに、必要に応じ専門家のアドバイスを得ながら各拠点での一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援
- (エ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示を実施
専門家等によるペット同行避難に関する講演会などの実施

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発（通年）

- (ア) 広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知（中止）
- (イ) 区民ホール（5月31日～6月11日）や地域防災拠点等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施
- (ウ) 「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を窓口等で配布



拠点訓練でのパネル等展示



小学校への防災出前講座

2 神奈川区防犯対策事業 3,285,289 円 (予算額 5,426,000 円) ☆重点事業

地域振興課

地域で実施する防犯キャンペーンやパトロールは、前年度に続き、新型コロナウイルスのまん延防止対策等により中止や自粛となるなど啓発活動への影響がありましたが、コロナワクチン接種会場での防犯啓発ビデオの上映、啓発物品の配布などを通じて振り込め詐欺等の特殊詐欺被害に遭わないための啓発を行い、区民の防犯意識向上に取り組みました。

また、特殊詐欺の犯人は電話の声を録音されることを嫌うため、警察等関係機関と連携し、留守番電話設定の奨励や、高齢世帯への防犯対策電話録音機の無償貸出を継続して実施しました。

(1) 住みよいまちづくり活動 (21 地区連合町内会の防犯活動支援)

助成金交付 (21 団体へ助成金を交付)

(2) 防犯活動啓発事業

ア 防犯情報メールの配信 (10 回)、広報よこはま等への掲載 (6 月～8 月、10 月、12 月)

イ 地域への防犯活動グッズ (帽子 45 個・ベスト 25 着) の配布

ウ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発

(3) 特殊詐欺撲滅対策

ア 地域へのパトロール用物品 (腕章 14 個・のぼり旗 75 枚・旗竿 38 本) 等の貸出、啓発物品の配布 (ポケットティッシュ・通帳入れメッシュケース)

イ ワクチン接種会場 (公会堂、菅田・神奈川地区センター) での啓発ビデオの放映及び啓発イラストを印刷したトイレトーパーを施設内のトイレに設置 (1,200 個)

ウ 啓発物品等の配布 (公会堂 5 月 17 日～3 月末、菅田・神奈川地区センター 6 月 9 日～3 月末)

エ 防犯対策電話録音機の無償貸出 (貸出機器数 123 台)

オ 警察・市民局との合同で区庁舎内でのサギ撲滅キャンペーン実施 (1 月 13 日: チラシ・啓発物品配布)



防犯対策電話録音機(無償貸与)



ワクチン接種会場(神奈川公会堂)での特殊詐欺啓発
(神奈川公会堂・神奈川地区センター・菅田地区センター)

3 交通安全対策事業 3,946,899 円（予算額 4,280,000 円）

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を目指し啓発を行いました。
また、スクールゾーン対策協議会などからの要望を踏まえ、路側帯カラー化などの対策を行い、交通環境の改善に取り組みました。

(1) 交通安全啓発事業

ア 交通安全教室の開催 対象：小学生（16校（私立1）：参加人数 3,239人）

中学生（1校：スケアード・ストレイト形式 210人）

※スケアード・ストレイト・・・スタントマンが受講者の目の前で交通事故を再現することにより、交通事故の衝撃や怖さを実感させ、交通ルールの必要性について受講者自身に考える機会を与える教育技法

イ 交通安全チラシおよび啓発物品の配布（各季）、広報よこはま区版の活用（4月、5月、7月、12月）

(2) 神奈川区交通安全対策協議会事業

神奈川区交通安全対策協議会の開催、交通安全功労者表彰の実施（4月28日）

(3) 児童通学路整備事業

ア スクールゾーン対策協議会活動の支援（スクールゾーン組織助成金交付 18団体）

イ 通学路内の路面標示の補修

(4) 交通安全対策工事

路面標示・標識の設置、補修等



路面標示（スクールゾーン）補修



中学校（浦島丘）で実施した交通安全教室（11月）



警察・交通安全協会と連携した交通安全啓発活動
（東神奈川駅周辺）

神奈川区内まちづくり関連予算

① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

相鉄・JR直通線（西谷～羽沢横浜国大）は、令和元年11月30日に開業しました。引き続き、横浜羽沢貨物駅構内の復旧工事等を進めました。

相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大～日吉）では、令和5年3月の開業に向けて、全区間で土木・軌道・電気工事等を進めました。

② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和3年度は、引き続き、建築工事を進めました。

③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和2年度は、工事中仮橋の設置や基盤整備を行うとともに埋立工事に着手しました。

令和3年度は引き続き基盤整備や埋立工事、物権移転補償を行いました。

④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行いました。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和3年度は、3月に制定した「横浜市空家等に係る適切な管理、措置等に関する条例」の施行（8月1日）に伴い、更なる管理不全な空家の解消に向け、区局が連携し取組を強化しました。



横浜駅きた西口鶴屋地区（イメージ）

⑥ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和3年度は松見台公園でスロープの設置等の再整備を実施しました。

また、老朽化した遊具等施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図っています。令和3年度は東横フラワー緑道、神大寺中央公園などの設計を行い、改良・更新工事を実施しました。

⑦ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

地域防災拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めています。令和3年度は羽沢小学校への下水道管きょ耐震化工事を完成し、旧池上小学校や済生会神奈川県病院への工事に着手しました。

また、下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和45年頃にかけて布設された古い下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和3年度は新子安、東神奈川などで工事を実施しました。

⑧ 道路維持修繕事業（道路局区配）

三ツ沢西町（主要地方道横浜生田）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図りました。

⑨ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、関係地権者と用地交渉を行いました。引き続き未買収地について、用地交渉を進め、早期取得を目指します。

⑩ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めており、損傷した誘導ブロックの補修工事を行うとともに、子安駅周辺の整備を行いました。

⑪ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

関係地権者との用地交渉を行い、令和4年3月、用地取得が完了しました。また、交差点の歩行者滞留スペースが2箇所完成し、供用を開始しました。引き続き信号機や電柱の移設工事と調整しながら道路整備工事を進め、早期完成を目指します。

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 14,194,180円

(予算額 18,938,000円)

- 4 かながわ安心子育て支援事業
- 5 かながわ子育てかめっ子支援事業
- 6 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業
- 7 市立保育所地域交流事業
- 8 介護予防・高齢者支援事業 **重点**
- 9 かながわ健康づくり応援事業
- 10 放課後児童健全育成連携強化事業
- 11 障害者支援事業
- 12 青少年育成費
- 13 スポーツ振興事業

かながわ子育て応援事業 **重点**

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑫ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑬ DV対策事業（こども青少年局区配）
- ⑭ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑮ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑯ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ⑰ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ⑱ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ⑲ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）
- ⑳ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）
- ㉑ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ㉒ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ㉓ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ㉔ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

4 かながわ安心子育て支援事業 821,468円(予算額1,385,000円) ☆重点事業

こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みました。また、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を図りました。

(1) 児童虐待防止対策事業

ア 子育て講演会(12月)

2歳児の保護者向けに子育ての具体的な方法についての講演会を感染拡大防止対策をとりながら実施

イ 児童虐待・DV防止連絡会(6月、1月)

ウ 養育支援連携会議(中止)

エ 虐待リスクのある対象者への支援

(ア) 第1子を対象とした新生児訪問を拡充し、不安の強い第2子以降への家庭訪問等を実施

(イ) 乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を丁寧に行い支援につなぐ



子育て講演会

(2) 親教育プログラム

0歳児向け(4回/コース 年2回)(6月～7月、1月～2月)

子育ての不安や悩みを持つ保護者に対し、子育てのノウハウを具体的に学べる講座を実施

(3) 子育て支援教室

障害児を持つ保護者同士の交流会を実施(6月、10月、2月)

(4) 虐待対応に関わる専門職の対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例の増加に対応するため、関係者のスキルアップや精神的な負担を軽減するための取組を実施(スーパーバイザーによる事例検討等 2月)

(5) ひとり親家庭相談支援事業

児童扶養手当の現況届時などに相談員を配置

(6) DV対応に関わる専門職の対応力強化

DV・児童虐待被害者への対応力強化のため専門職のスキルアップに向けた取組を実施(スーパーバイザーによる事例検討等 7月、1月)

⑫ 児童虐待防止啓発地域連携事業(こども青少年局事業)

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めました。

⑬ DV対策事業(こども青少年局区配)

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行いました。

5 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,334,096 円(予算額 4,500,000 円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行いました。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場づくり「すくすくかめっ子」の活動を支援しました。

(1) 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催(計10回、396人参加)
(8月、9月は中止)

(2) 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校で0歳児の母子の協力を得て、児童が乳児と接する機会づくり(中止)

(3) 養育ネットワーク事業

0歳児の育児教室を感染症対策を講じて実施(区内16か所 月1回程度)
(計148回、延べ2,115人参加)(8月の一部、9月は中止)

(4) 外遊び活動支援事業

- ア 外遊び体験イベント(3回/コース・年1回)(中止)
- イ 外遊びネットワーク交流会(中止)
- ウ 外遊びリーフレットの印刷(6,000部増刷)



外遊び体験イベント(反町公園)

(5) すくすくかめっ子事業

- ア 地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流を実施(45地区47会場で実施)(方面別交流会は中止)
- イ すくすくかめっ子21周年事業(活動PR動画の作成等)の実施(ショートバージョン、ロングバージョンの2本作成)

(6) 子育て情報提供事業

子育て応援マップ(13,000部)、子ども・家庭支援相談案内(6,000部)

(7) 子育てアンケート事業

令和元年度に実施した調査結果のリーフレットを作成し、子育て関係者へ周知(2,000部)

⑭ こんにちは赤ちゃん訪問事業(こども青少年局区配)

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めました。

参考：令和3年4月～令和4年3月の実績 訪問員58人、訪問件数1,696件

⑮ 地域子育て支援拠点事業(こども青少年局区配)

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かないちえ」(NPO法人 親がめが運営)があります。

参考：令和3年4月～令和4年3月の利用者：延べ36,507人

6 保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業 2,000,000円（予算額2,000,000円）

☆重点事業

こども家庭支援課

令和元年度からの取組の集大成として、保育・教育施設が自ら「自助」「共助」の観点で、防災対策を進められるよう、横浜市立大学と協定を結び、講座やワークショップ、伴走支援等を行いました。

また、神奈川区発の事業として他区にも取組を広め、市内の保育・教育施設の防災力を向上させるため、積極的な普及啓発を行いました。

(1) 連続講座

保育・教育施設における地域連携の在り方を考える講座やワークショップを開催（2回69人参加）するとともに、講座の内容を収録したDVDを施設での研修に活用



連続講座（まち歩き）

(2) 伴走支援

津波や高潮対策等にかかる施設と地域の連携モデル策定のため意見交換会やワークショップを開催（幸ヶ谷小学校地域防災拠点、白幡幼稚園）



幸ヶ谷小学校地域防災拠点

(3) 分析とフィードバック

各施設の防災対策にかかる取組状況を横浜市立大学のゼミで分析して「神奈川区防災・減災×まち保育カルテ」を作成し、施設にフィードバック（43施設）

(4) 防災教材の制作と提供

保育・教育施設に通う園児と職員が日常の活動の延長線上で、防災・減災の視点からまちの資源と活用方法を学べる防災教材「てくてくまっち」を横浜市立大学等と共同で制作し、区内全施設に配布



てくてくまっち

7 市立保育所地域交流事業 1,196,105 円 (予算額 1,858,000 円)

☆重点事業

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、土曜日の園庭・施設開放及びランチ交流等を実施しました。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行いました。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図りました。

(1) 食育推進事業

地域の親子を対象にランチ交流を実施

(2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施

(3) 保育施設等情報パンフレット作成

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成



園庭開放

(4) 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会（年6回開催）や研修会を行い、保育の質の向上を図りました。

⑯ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やしました。

⑰ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めました。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施しました。

⑱ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行いました。

【令和4年4月開所】

- ・グローバルキッズ新子安第二保育園（新子安1丁目）定員60人
- ・反町ひかり保育園（広台太田町）定員60人

※反町ひかり保育園は横浜保育室（入江町保育園）が認可保育園へ移行

8 介護予防・高齢者支援事業 3,762,820円(予算額4,083,000円) ☆重点事業

高齢・障害支援課

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による高齢者のフレイル対策も意識し、局配付事業と一体的に取り組みを進めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、それぞれの事業で代替方法を検討するなど工夫して実施しました。引き続き「地域包括システム」の基盤づくりをさらに推進していきます。

(1) 介護予防普及啓発事業

要介護の前段階であるフレイルの予防の必要性について普及啓発しました。地域の居場所等への参加につなげ、介護予防活動にかかわるボランティアの人材育成にも取り組みました。

ア 市営バス内モニター(デジタルサイネージ)の活用(3回更新、通年)

イ 体力測定 de 健康アップ講座の開催(通年:一時休止)

ウ 健康アップ協力隊への継続した支援

(ア) スキルアップ研修等の実施(6月21日、7月5日)

(イ) かめ亀手ぬぐいサイズ(神奈川区オリジナル介護予防体操)の普及。体操の映像・ポスターの作成(7月)

(ウ) 神奈川区版シニア通信の発行(10月)



市営バス内モニターで映出

(2) 認知症高齢者支援事業

認知症サポーターや、キャラバン・メイトをはじめとした地域の人材育成を行い、各種取組を推進しました。

ア 認知症への理解を促進する啓発物品の作成

認知症オレンジプロジェクトと連携し、認知症普及啓発

ポスター作成、区内関係各所へ配布(11月)

イ 認知症高齢者みまもり協力店の普及展開

(ア) みまもり協力店の登録(随時)

(令和4年3月末:241店舗)(4増10減※)

※減は店舗の統廃合によるもの

(イ) みまもり協力店スキルアップ研修会(6月17日)

ウ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の登録・配布(随時)

エ キャラバン・メイト交流会の実施(オンラインにて1月20日開催)、

事務局会議の実施(通年)



かめ亀手ぬぐいサイズ



みまもり協力店シール

(3) 地域包括ケア推進事業

医療・介護関係者や地域の団体などとともに、高齢者に対する支援の充実、それを支える社会基盤の整備(地域づくり)等を進めました。

ア 地域ケア会議の実施

個別事例の検討を始点として、個別課題解決から、地域づくり、資源開発、政策形成等につなげるための地域ケア会議を個別単位、地域包括単位、区単位で実施しました。

(令和4年3月末現在:15回(個別11回、包括4回))

⑱ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）

- ・各区地域包括ケア行動指針推進費（健康福祉局区配）
横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区行動指針を区アクションプランとして改定しました。
- ・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）
区社会福祉協議会と地域ケアプラザ等に配置した「生活支援コーディネーター」を中心に、高齢者の生活支援、介護予防・社会参加が充実した地域づくりを支援しました。
- ・介護予防・生活支援サービス事業（健康福祉局事業）
介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業です。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。
- ・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）
横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。

⑳ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）

- ・元気づくりステーション事業
介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をしました。（区内23か所）
*内容：体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など
- ・地域介護予防活動支援事業
地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」などを展開しました。

㉑ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

- ・神奈川区徘徊高齢者SOSネットワーク
認知症により徘徊の可能性のある方を事前登録することで、徘徊して行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。
- ・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）
徘徊によって行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等SOSネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配布しました。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。
- ・認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）
医療や介護サービス等につながっていない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行いました。

9 かながわ健康づくり応援事業 937,001 円（予算額 2,083,000 円）

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体等と連携し、健康づくり活動を展開しました。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業（保健活動推進員等と協働）

- ア 保健活動推進員及び食生活等改善推進員（ヘルスメイト）向けウォーキング研修会の実施（3月 29人）
※一般区民向けウォーキングイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- イ 保健活動推進員等が主催する地区におけるウォーキング開催支援（随時）



さあ！歩こう健康ウォーキング
（平沼記念体育館）

(2) 健康づくり推進事業

- ア 区庁舎内常設健康チェック・情報コーナー
 - (ア) コーナーを活用した健康相談の実施
（10月、11月、12月実施（計54人）、
5～9月・1～2月 中止）
 - (イ) 関係機関・団体等の健康づくり活動情報の充実
- イ 地域における健康づくり活動の支援
 - (ア) 歯周病予防・オーラルフレイル※予防をテーマとした
歯科出前講座の開催（11月、2月実施 計19人）
 - (イ) 健康チェック機器を充実させ、地域関係団体の活動を支援（随時）
- ウ 働き・子育て世代の健康づくり
両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施（保健師、栄養士対応）
※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態



健康チェック・情報コーナー

(3) 食育普及事業

- ア 保育園・小中学校等との連携による食育推進食育展（6月14日～24日）
- イ 食育関連講座
 - (ア) ヘルスメイトとの協働による野菜摂取の普及（1回）
 - (イ) 3歳児健康診査での食育ミニ講座（24回 計744人）



食育展
（区庁舎1階ホール）

② 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

第2期健康横浜21計画の中間評価の結果を踏まえ「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の5つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指します。

10 放課後児童健全育成連携強化事業 217,480 円（予算額 300,000 円）

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ等の質の向上と安定運営を図るため、放課後事業に従事する職員や、現場を支える運営者を対象に研修を実施しました。

(1) 区役所内研修（人数制限にて感染拡大防止対策をとりながら実施）

| 研修名 | 対象者 | 内容 | 実施時期 | 参加人数 |
|--------|------------|-------------------------------|----------------------|------|
| 養育支援 | 職員等 | 児童虐待等への対応 | 6月23日 | 27人 |
| クレーム対応 | 職員 運営主体 | 対応に苦慮する方との関わり方 | 中止 | - |
| 感染症対応 | 職員等 | 感染性胃腸炎等が発生した場合の対応（オンライン及び上映会） | 12月20日 ～ 1月30日 | 53人 |
| 危機管理 | 職員 運営主体 | 事故を防止する取組や事故発生時の対応 | 12月9日 | 21人 |

(2) クラブ出前研修

| 講座名 | 対象者 | 内容 | 実施時期 | 実施クラブ数 |
|----------------|------------|----------------|-----------------|--------|
| 労務・経理 安全対策等 | 職員 運営主体 | 施設の安全管理や災害時の対策 | 7月13日 10月14日 | 2クラブ |
| | | 労務管理や経理処理 | 11月19日 | 1クラブ |

【対象】放課後児童健全育成事業クラブ数（令和4年3月末現在）

放課後キッズクラブ 18 か所、放課後児童クラブ 17 か所



クラブ出前研修

㊸ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を委託して実施しました。

11 障害者支援事業 948,430 円（予算額 1,117,000 円）

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援を行いました。

(1) 障害者地域作業所等の活動支援

ア 花のデリバリー

フラワーアレンジメントの配達を委託（計 40 回実施、
8～9 月分 8 回 中止）

イ 障害者地域作業所等の活動支援

- (ア) 反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援（中止）
- (イ) 区役所販売支援（中止）、障害者週間（12 月 6 日～10 日）
での啓発



地域作業所自主製品

(2) 障害児者の健康づくり支援

ア 健康づくりのための啓発ポスター作製

障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケア、生活習慣病予防啓発のための作業所掲示用ポスター作製（11 月）

(3) 精神障害者の退院促進や在宅生活継続に向けた支援

ア 精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- (ア) 生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催（随時）
- (イ) 精神保健福祉関係機関との連絡調整会議（3 月 17 日）

(4) 関係機関との連携・支援

ア 障害者支援を行う関係機関等のスキルアップ・ネットワーク構築支援

- (ア) 関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催（2 月 21 日）
- (イ) 神奈川県内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催
（地域自立支援協議会 9 月～3 月 各部会 1～2 回、書面・WEB 開催含む）

(5) ひきこもり状態にある人への支援

ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催（11 月 24 日）

⑭ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

自殺対策強化月間（9 月）他、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みました。

自殺予防小冊子配布。研修会（3 月 11 日）。広報よこはま区版令和 3 年 9 月号、令和 4 年 3 月号に掲載。

12 青少年育成費 202,022 円（予算額 542,000 円）

地域振興課

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年がいきいきと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して、関係団体の活動を支援しました。

(1) 青少年活動推進事業

子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業に対する支援

(2) 青少年パワー発揮事業

ア B-SKY FES 2021 10th Anniversary

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を支援しています。令和3年度はオンライン動画の配信を行いましたが、ステージは中止しました。（オンライン動画配信：11月～12月）

13 スポーツ振興事業 774,758 円（予算額 1,070,000 円）

地域振興課

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援しました。

(1) 区民大会等各種事業補助

ア 各種スポーツ大会、講習会の支援

野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き

Ⅲ 魅力にあふれ愛着がもてるまちづくり 6,967,914円

(予算額9,627,000円)

- 14 神奈川県資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- 15 わが町かながわ商店街魅力発信事業
- 16 文化活動支援事業
- 17 花いっぱい事業
- 18 かながわエコスクラム事業
- 19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- 20 放置自転車等対策事業
- 21 動物適正飼育推進事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ②⑤ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ②⑥ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ②⑦ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ②⑧ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ②⑨ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）
- ③⑩ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ③⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

14 神奈川県資産「わが町かながわとっておき」活用事業

☆重点事業

1,223,339円（予算額2,133,000円）

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川県資産「わが町かながわとっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みました。

(1) 神奈川県資産の活用

ア 「わが町かながわとっておき」を活用したイベントの開催等

若いうちから「かながわ愛」・「地域愛」をはぐくむイベントを、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して実施

<具体的事業>

(ア) 小学生を対象とした「まち自慢新聞コンテスト」

応募数：区内7小学校・239人から220点応募

(イ) 「よこはまウォーキングポイント」のスマートフォンアプリを活用したウォーキングラリー（中止）

※地域団体で組織する「わが町かながわとっておき実行委員会」が主催

イ 「わが町かながわとっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

応募数：197点

ウ 「わが町かながわとっておき」散歩ガイドの配布と活用

(2) 看板の維持管理

ア 「わが町かながわ50選」案内看板の維持管理

現況確認を行い必要に応じて補修しました。



案内看板の一例



第13回「わが町かながわとっておき」
写真コンテスト（令和3年度）
【小中学生部門】最優秀作品

15 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,626,144(予算額2,010,000円) 地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、商店街を含めたコミュニティの活性化を図りました。

(1) 商店街ラリー事業

神奈川区の商店街を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作り、商店街の魅力を発信しました。

㊸ 商店街活性化イベント助成事業（経済局支配）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

㊹ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が防犯パトロール活動を実施している場合、商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、交通安全や防犯対策にもつなげました。

16 文化活動支援事業 651,961円（予算額1,000,000円） 地域振興課

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援するとともに、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させました。

(1) 文化協会補助金

- ア 区伝統芸能祭（民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい）（中止）
- イ 区民音楽祭（コーラス交歓会（中止）、アンサンブルコンサート（2月27日）、中学校生徒音楽会（協会共催）（中止））
- ウ 区文化展（洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道の発表会）
（2月23日～3月14日）
- エ 春のコンサート（中止）
- オ ちいさな美術館（9月～11月 計2回）

(2) 読書活動推進事業

- ア 読書活動推進講演会（10月28日～令和4年1月31日市YouTubeチャンネルにて配信）
- イ 区内関係機関と連携した企画展などの開催
- ウ 読書活動関係機関連絡会（3月書面開催）

17 花いっぱい事業 1,330,036 円（予算額 1,550,000 円）

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作りました。

(1) 球根・花苗の配布、花壇の設置

ア 区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布しました。

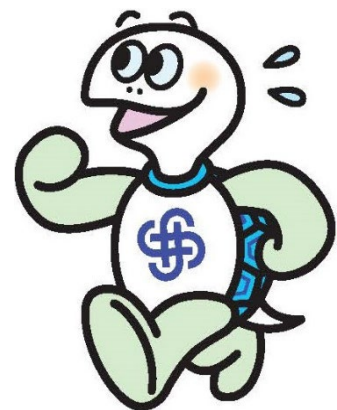
イ 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置しました。

(2) 花苗の育成

公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行います。（中止）

(3) ボランティア団体の交流の促進

土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流会（中止）



区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、エコ講座や緑のカーテンの普及啓発、地産地消推進等の温暖化対策を推進しました。

(1) エコ活啓発事業

- ア 小学生向け出前教室の開催（2回）
- イ カーボンオフセットへの取組の支援・PR（中止）
- ウ エコパートナー協定に基づいた横浜FC協働事業（エコパートナーDAY出展）（中止）

(2) 緑化推進事業

- ア 区内公共施設での緑のカーテンの普及啓発（14施設）
- イ 区役所での緑のカーテン設置（5月～10月）
- ウ 区民向け緑のカーテンの普及啓発（緑のカーテン用ゴーヤ種の配布 158人）



緑のカーテン育成の様子（中丸小学校）

(3) 地産地消推進事業

- ア 区内産野菜等の出張販売の実施（4月23日神奈川地区センター 来場者102人）
※他3回は（中止）
- イ 直売所マップを活用したウォーキングイベントの実施（中止）
- ウ 直売所マップ集や食育と連携したレシピ集などを活用した地産地消の魅力発信（通年）



区内産野菜等の出張販売の様子

㉗ 緑化推進事業（環境創造局区配）

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みました。

- ◆小学校・保育所に緑のカーテンを設置（19施設）

㉘ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）

地産地消関連のイベントの参加を促すため、啓発物品としてトートバッグを作成しました。4月実施の野菜市で配布し、今後のイベント時にも配布して啓発していきます。

㉙ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）

市内産のシクラメン等を区庁舎に置き、区内で花きが生産されていることをPRしました。

19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 894,513円（予算額1,110,000円）

地域振興課

「ヨコハマ3R夢プラン」、特に3Rのリデュースを推進するため、食品ロスの削減、生ごみの水切り、土壌混合法等の普及・啓発を実施しました。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」の活動に取り組みました。

(1) 地域美化活動支援事業

- ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）（中止）

(2) 不法投棄防止対策事業

- ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- イ 地域と連携した不法投棄への対応

(3) ヨコハマ3R夢啓発事業

- ア 地域まつり等での啓発（中止）
- イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発（中止）
- ウ 保育園や小学校等での出前授業
- エ 広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- オ 資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- カ ヨコハマ3R夢推進功労者の表彰（6月、12月）
- キ 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発（中止）
- ク 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
- ケ リユース食器利用促進に向けた費用補助（申請なし）



地域清掃

20 放置自転車等対策事業 468,605円（予算額700,000円）

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図りました。

(1) 自転車マナーアップ事業

- ア 広報での駐輪場の利用促進
- イ 自転車利用のマナーアップ啓発

(2) 自転車等放置防止推進協議会への助成

- 各禁止区域の協議会に対する活動費助成

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行いました。

(1) 犬の適正飼育啓発事業

ア 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場、窓口等で配布

啓発チラシ：1,150 枚 マナープレート：167 枚 啓発用トイレパック：500 パック

※狂犬病予防注射出張会場は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 犬のしつけ方で困っている飼い主を対象としたマナー教室の開催（中止）

ウ 広報よこはま区版での啓発（令和4年3月号）

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

ア 飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布（15 地域）やセミナー開催（2 地域）、神奈川区猫ボランティアの派遣（5 地域）などによる不妊去勢手術実施の支援等を実施

イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器の貸出の拡充及び猫用トイレの配布を実施

ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援

エ 飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育管理が不適切な猫の飼い主に対し、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導

オ 広報よこはま区版での啓発（令和3年9月号）



かかりつけ動物病院啓発リーフレット

(3) ペットの預け先啓発事業

飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、気象災害・火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレットにより啓発

③⑩ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援しています。

登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をしています。

③⑪ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成しています。

IV 地域のかやつながりをはぐくむまちづくり 21,690,333円

(予算額 27,782,000円)

- 22 地域力アップ推進事業 重点
- 23 区民活動・生涯学習支援事業
- 24 地域福祉保健活動推進・支援事業
- 25 ふれあい活動支援事業
- 26 区民協議会支援事業
- 27 民生委員・児童委員活動支援事業
- 28 神奈川区民まつり事業
- 29 まちづくり推進事業
- 30 地域活動支援事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑳ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ㉑ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

22 地域力アップ推進事業 1,629,032円(予算額3,400,000円) ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため「地域力アップ推進事業」を実施しました。

(1) 地域人材マッチング事業

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援しました。

ア 地域活動の担い手の掘り起こしを目的に、自治会町内会が実施するアンケートの検討・作成支援(神大寺地区自治連合会、高島台町内会)

イ アンケートにおいて地域活動に関心を示した住民が、自治会町内会とつながりを持つための交流会等の実施支援(斎藤分南部町内会)

(2) 地域情報の発信等

ア 区内の地域活動の事例を区民に紹介する情報紙「地域のわ通信」の発行(通年)

イ 若い世代や転入者など、区内の様々な活動とつながる機会が少ない方々を中心に、関係づくりのきっかけとして、地域SNS※「ピアZZ」内に神奈川県エリアを開設(5月25日)し、地域に根ざした情報発信や交流ができる機会を創出【新規】



「地域のわ通信」の発行

※地域SNSとは

地域に根ざしたコミュニティとして、地域単位で展開するSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)です。コミュニティの範囲を神奈川県に限定し、区内の防災や子育て等の地域情報を行政だけでなく、区民や事業者の皆様など多くの方々が情報を発信し、交流することができます。

(3) 地区担当チーム向け地域支援研修(2回)

転入者向け基礎研修(4月15日、16日)

(4) 地域力支援システム運用事業

地区担当チームの地域支援に活用する地域情報を収集、整理する地域力支援システム「神奈川県GIS」を運用しました。

⑳ 元気な地域づくり推進事業（市民局支配）

区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施しました。

また、自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や、区民の自主的な地域活動を支援する「かながわ地域支援補助金」事業を実施しました（前年度からの継続団体のみ対象）。

- 「地域づくり大学校」事業
- 「かながわ地域支援補助金」事業

スタートアップコース、自治会町内会スクラムコース

23 区民活動・生涯学習支援事業 2,510,601円（予算額3,394,000円）

地域振興課

地域の問題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供しました。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行いました。

(1) 生涯学級事業

- ア 区民向けの区民企画型講座 3学級で各5回開催（10～11月）
- イ 運営委員対象のスキルアップ講座・交流会（中止）

(2) 区民活動支援センター事業

- ア 相談・支援等
ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク（人財バンク）を活用したコーディネート
- イ 担い手発掘・育成
 - (ア) 区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（10月、12月）
 - (イ) 助っ人バンク活用の市民活動・地域活動体験講座として「助っ人バンク講座」を開催
※ZOOMの使い方講座（6月、12月、1月）
 - (ウ) 登録団体、助っ人バンク登録者対象のスキルアップ講座・交流会（12月8日、2月8日）
- ウ 情報紙発行
 - (ア) 情報紙「ぐるーばる・あい」の発行（年6回、各3,000部）
 - (イ) 情報誌の編集ボランティア養成講座を開催（中止）
- エ 地域施設間連携
 - (ア) 地域課題や情報共有などを行うため施設間連携会議の開催（7月5日、12月13日）
 - (イ) 地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行

(3) かながわ湊フェスタ開催事業

- ア かながわ湊フェスタ2021の開催（11月28日・神奈川スポーツセンター）
 - (ア) 区内で活躍する市民活動団体等が一堂に会し、区民に対して活動PRを実施
 - (イ) 市民活動団体同士の連携による新たな活動のきっかけづくり
 - (ウ) 「区民活動支援センター活動PR展」と統合開催することにより、地域とのマッチングを促進し地域人材を発掘、育成支援
 - (エ) 神奈川区の人やまち、環境など多面的な魅力を発信し、神奈川区への愛着感を醸成

24 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,149,896 円（予算額 4,601,000 円） **福祉保健課**

新型コロナウイルス感染症流行の影響により策定期間が延期となった「かながわ支え愛プラン（神奈川区地域福祉保健計画）」について、第4期計画（計画期間：令和3年度～7年度）を策定し、区民の皆様や、区社会福祉協議会・地域ケアプラザなどの関係機関と協働して推進しました。

(1) 第4期計画の策定及び第3期計画の推進（区計画）

- ア 区計画の策定及び推進・進捗確認のための意見交換の場である「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（7月29日）
- イ 計画策定アドバイザーを活用した、区計画の策定（通年）
- ウ 計画素案に対する区民意見募集の実施（8月23日～9月10日）
- エ 計画冊子（2,500部）及び概要版（2,000部）などの版下作成、印刷（3月）
- オ 広報紙「支え愛プラン通信」の発行（ホームページ等を利用して活動を周知）

(2) 第4期計画の策定及び第3期計画の推進（地区別計画）

- ア 各地区の現状把握のためのデータ分析（通年）
- イ 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による21地区支援（通年）
- ウ 新型コロナウイルス感染症の流行状況をふまえたそれぞれの地区が抱える課題や今後の取組について、各地区が話し合う場の開催支援（各地区2～3回/年）
- エ 地区別計画情報交換会の開催（中止）
- オ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（中止）



区計画策定推進会議の様子

25 ふれあい活動支援事業 1,390,372 円（予算額 1,819,000 円） **福祉保健課**

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援しました。

- (1) ふれあい活動員全員を対象とする研修会（中止）
- (2) 各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議（中止）
- (3) ふれあい活動支援補助金の交付（8～9月）

㊸ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげました。

令和元年度から従来の75歳以上のひとり暮らし高齢者と併せて、75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者にも対象者を拡大しています。

《令和3年度 対象者数》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 935人

75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 891人

26 区民協議会支援事業 182,427 円（予算額 566,000 円）

区政推進課

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動（運営委員会、各部会、区民のつどいなどの会議・行事）に対して支援を行いました。

- (1) 第 20 期「活動の成果」発行
A 4 版 54 頁 300 部（7 月）
- (2) 区民のつどい（第 20 期最終報告）の開催
7 月 5 日 93 人参加
- (3) 第 21 期 神奈川区民協議会の発足（11 月）
- (4) 運営委員会の開催

※機関紙「こぶし」発行・施設見学会は活動休止のため中止

27 民生委員・児童委員活動支援事業 926,904 円（予算額 1,043,000 円）

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげました。

- (1) 訪問活動用物品の作成
高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入しました。
（不織布マスク 2 枚入り 9,600 個 10 月配布）
- (2) 民生委員活動に使用する物品の購入
新型コロナウイルス感染症拡大を受け、訪問活動に不安を覚える民生委員が多いため、安心して活動を行えるよう訪問の際に民生委員が使用することのできる物品を購入しました。
（マスク 1,500 枚、アルコール約 600 個 9 月配布）
- (3) 新任委員研修
一斉改選後 1 期目の新任委員を対象に、必要な知識の習得やスキル向上のための情報交換会を同一内容で 2 回に分けて実施しました。（11 月 14 日、12 月 3 日）

28 神奈川区民まつり事業 4,000,000円(予算額4,000,000円)

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川区民まつりを支援しました。令和3年度は一つの場所に集う例年の形態と異なり、オンラインにより実施しました。8月から特設ホームページを開設し、動画やぬり絵等計333点の応募がありました。

○特設ホームページへのアクセス数：31,595回



特設HPで公開中のバナー画像



区民まつり(令和3年度)動画配信での開催の様子

29 まちづくり推進事業 5,045,934円(予算額5,490,000円)

区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指すため、各地域の特性や課題を把握し、魅力あるまちづくりを進めました。

(1) 持続可能な団地再生検討事業

区内大規模団地4団地のうち、人口減少・高齢化率が最も高い西菅田団地をモデルとして、地域が主体的に団地活性化に取り組むための支援を行いました。

ア 地域住民や近隣施設、関係機関と連携した移動支援の試行実施(通年)

※令和4年4月より運行開始(1回/週)

(2) 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行いました。(通年)

(3) 企画調整事業

神奈川区に居住している外国人について状況を把握するため、支援団体等へのヒアリングや郵送でのアンケート調査を実施しました(回答率37.5%)。調査結果を踏まえ、今後の施策に活かしていきます。

30 地域活動支援事業 1,855,167 円（予算額 3,469,000 円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行いました。

(1) 自治会町内会長感謝会（式典中止）

- ア 感謝会中止に伴い区長表彰者 16 人に対し感謝状、記念品を送付（3 月）
- イ 市主催表彰式中止に伴い市長表彰者 19 人に対し表彰状、記念品を送付（3 月）

(2) 自治会町内会配送業務

- ア 各自治会町内会に月 1 回（8 月・12 月を除く）掲出依頼物などを送付
- イ 配送業務に係る事前準備・委託事務

(3) 自治会町内会加入促進事業

- ア 加入促進チラシや区連会で作成した啓発グッズ（メモ帳）を転入者セットに同封して配布
- イ 区役所で受け付ける加入申込みについて、自治会町内会への取次を随時実施

V 共感と信頼の区役所 23,678,181円（予算額14,271,000円）

- 31 チーム神奈川おもてなし向上事業
- 32 かながわ魅力発信事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ③④ 緑化推進事業（環境創造局区配）

31 チーム神奈川おもてなし向上事業 19,775,611円（予算額10,382,000円）

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指しました。また、来庁者に利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺環境整備を進めました。

(1) 人材育成等推進事業

ア 神奈川区を知る研修

- (ア) 新採用・転入者研修（4月1日、13日 計83人）
- (イ) 「チーム神奈川を学ぶ」研修（8～2月、他課の業務を学ぶ）（中止）

イ 職員研修

- (ア) CS向上研修（中止）
- (イ) 職員スキルアップ研修（中止）
- (ウ) 行政対象暴力研修（12月2日）
- (エ) 自動車等安全運転研修（中止）

(2) 人権啓発事業

ア 区職員向け研修

- (ア) 責任職研修（最低1つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴又は課内研修等の取組）
- (イ) 職員対象研修（最低1つの人権に関する研修テーマを選択し、教材を視聴）

イ 区民向け・関係団体向け講演会（中止）

- ウ 広報よこはまに人権啓発の記事掲載（令和4年3月号）
- エ 区庁舎区民ホールにてパネル展を実施（12月27日～1月4日）

(3) サイン整備等

分かりやすい案内サインとするため、再整備を行いました。

(4) 窓口等環境改善（新型コロナウイルス感染症対策等）

区役所を気持ちよく利用していただけるよう、窓口のプライバシー向上や、区役所構内通路の手すり設置等、環境改善を行いました。

庁舎内での新型コロナウイルス感染症対策の為、手指消毒液の設置や庁舎内の消毒等を行いました。

区民ニーズをとらえ、区の情報を効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信します。

(1) 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供

(2) 区民生活マップの発行
日本語版 13,000部

(3) 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用
区民等へ着ぐるみの貸出(当面休止)やイラスト(素材)の提供

(4) 区の花「チューリップ」の植栽、写生画展の開催
ア 区内小学生を対象として写生画展を開催、受賞作品を市庁舎(8月11日~19日)、
神奈川県図書館(9月3日~12日)で展示
イ 区内小学校に球根を配付(10月~11月)
公立学校全18校、私立学校2校 計20校

(5) 歴史活用事業

ア 旧東海道歴史史跡等を活用したイベントの実施

(ア) 旧東海道神奈川宿ウォーク

4月26日~7月26日 参加者1,083人

(イ) 旧東海道神奈川宿ウォーク2022

1月24日~3月14日 参加者1,276人

イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報(通年)

ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新(4か所12パネル)



令和3年度チューリップ写生画展
(横浜市役所1階展示スペース)



令和3年度チューリップ写生画展
(神奈川県図書館)



旧東海道神奈川宿ウォーク

③4 緑化推進事業(環境創造局区配)

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配付しました。

令和4年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和4年度 個性ある区づくり推進費

執行状況



令和4年8月31日

神 奈 川 区

目 次

| | ページ |
|----------------------------------|-----|
| 1 令和4年度神奈川区運営方針 | 1 |
| 2 令和4年度神奈川区編成予算総括 | 5 |
| 3 令和4年度神奈川区自主企画事業等執行状況 | 6 |

令和4年度 神奈川区 運営方針

基本目標である「笑顔でつながる『神奈川区』」の実現に向け、高齢化や子育て世代の流入など地域社会の変化等を踏まえながら、地域の課題やニーズに丁寧に対応します。

新型コロナウイルス感染症の影響でイベントなどが中止となり、地域の関係性の希薄化が懸念されることから、共助の取組や連携の取組をより一層支援し、誰もがいきいきと暮らし続けられる「安心して温かい元気なまちづくり」を推進します。

神奈川区長 日比野 政芳

I 基本目標

笑顔でつながる「神奈川区」

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～



II 目標達成に向けた3つの施策

1 安全・安心なまちづくり

大地震や風水害時の迅速な避難行動や被害軽減につなげられるよう、「自分でつくるmy防災マップ」の配布等により自助の行動を促します。併せて、町の防災組織を支援し、避難所の体制強化に向けた物品配備や研修等を行い、共助・公助の取組を推進します。

特殊詐欺等の防犯や交通安全の啓発に地域や関係機関と連携して取り組みます。

2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

高齢者支援として、フレイル（高齢者の虚弱）予防や認知症への理解促進の取組を推進します。

障害児者に関係する機関の連携体制づくりや地域作業所等の活動支援などを進めます。

親子同士の交流や子育ての悩みの相談ができる地域の居場所の活動を支援します。また、身近な区役所での相談・支援の充実を図るための体制を整備し、児童虐待の早期発見や養育者の孤立防止に取り組みます。

3 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり

新型コロナウイルス感染症の影響で制限されている地域活動の再開を支援し、課題解決に協働で取り組むとともに、活動を支える担い手の育成を進めます。

歴史資産や商店街などの区の魅力を発信し、地域への関心や愛着心を高め、幅広い世代の区民同士のつながりを育みます。

また、「かながわ支え愛プラン」（神奈川区地域福祉保健計画）を地域の皆様や関係機関と連携して推進します。

III 目標達成に向けた組織運営 ～信頼される区役所づくり～

区民サービスの向上

- 区役所職員の一層のスキルアップにより行政サービスを正確・迅速に実施します。また、来庁者が安心かつ快適に区役所を利用できるよう環境整備を進めます。

現場主義の実践

- 職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚し、区民の皆様の声に耳を傾け、現場主義を実践するとともに、協働による地域づくりを進めます。

チーム神奈川の推進

- 課題解決に向けて各課の連携を強化し、「チーム神奈川」で共に考え協力して取り組みます。また、組織力を向上させるために、ワークスタイル改革に取り組み、職員がやりがいをもって、自らの能力を発揮できる職場環境づくりを進めます。



神奈川区マスコットキャラクター
かめ太郎

施策1 安全・安心なまちづくり

防災・減災

- ◆ **NEW** 地域防災力を更に強化する「共助の取組」支援セミナーを実施
- ◆ 大地震、風水害時の窓ガラス飛散防止の普及啓発や窓ガラス飛散防止フィルム設置を支援
- ◆ 乳幼児子育て世代向けに家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布
- ◆ 地域防災拠点での生活が難しい要援護者の二次的避難所である福祉避難所へ感染症対策物品等の備蓄品等を整備
- ◆ 地域防災拠点の機能強化
 - ・ 運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂支援
 - ・ 地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）



窓ガラス飛散防止フィルム
施工作業

防犯

- ◆ 地域に防犯活動グッズを配布し、防犯キャンペーンやパトロールなどの機会を活用した啓発
- ◆ 犯罪被害防止のため警察と連携した防犯情報メールの発信
- ◆ 詐欺被害防止に効果がある迷惑電話防止機能付き電話機等を高齢者世帯を対象に無償貸出



迷惑電話防止機能付電話録音機

区と局が連携して取り組む事業例

広域シェアサイクル事業の 社会実験を行います【道路局】

日常生活の移動手段の選択肢を増やすこと及び地域の活性化に貢献することなどを目的とし、シェアサイクル事業の社会実験を行います。神奈川区は先行的に事業を展開する重点展開区として位置づけられています。

公園の再整備・施設改良を行います【環境創造局】

概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施します。

（R4年度：富家町公園）
また、安全・安心に利用してもらえるよう老朽化した施設の改良・更新を行います。

（R4年度：片倉うさぎ山公園、山王森公園など）



令和3年度に再整備した松見台公園

施策2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

高齢・障害者支援

- ◆ **NEW** 高齢者のフレイル予防に役立つ「体にいいこと続ける手帳(仮)」「つながる」便箋セットほかを作成、配布
- ◆ 介護予防出張講座「体力測定de健康アップ講座」の実施
- ◆ 「認知症高齢者みまもり協力店」のスキルアップ講座、認知症サポーター養成講座、など認知症の理解・支援促進
- ◆ 横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、「見守り」体制強化に向けた取組の推進
- ◆ 製品の展示・販売などによる、障害者地域作業所等の活動支援
 - **NEW** 自主製品紹介ガイドブック発行



「神奈川区アクションプラン」

子育て支援

- ◆ 親子のたまり場である「すくすくかめっ子」の支援
- ◆ 地域のさまざまな活動をまとめた子育て応援マップの配布
- ◆ **NEW** 乳幼児の事故を予防する啓発や講演会の実施
- ◆ **NEW** 孤立した就学後児童の養育者への支援をきめ細かく行うため、つながりとケアを意識しグループミーティングを実施
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響等による乳幼児健康診査を受診していない家庭に対する電話、訪問等の対応を充実



「すくすくかめっ子」で利用者が自由に楽しむ様子
(幸ヶ谷集会所)

区と局が連携して取り組む事業例

地域で取り組む介護予防活動を支援します【健康福祉局】

高齢者が仲間と一緒に介護予防・健康づくりに取り組むグループ活動（元気づくりステーション）を支援しています。



「ポールde歩こう会」活動の様子

地域の子育て支援拠点を運営します【こども青少年局】

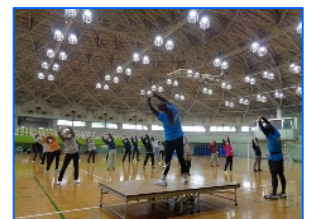
就学前の子どもと保護者、子育て支援に取り組む人を支援します。区内には「かなーちえ」と昨年度オープンした「かなーちえサテライト」があります。



親子が楽しむ様子

区民の健康寿命の延伸に向け取り組みます【健康福祉局】

誰もが生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域等と連携して身近な場所での健康づくりを推進します。



健康づくりウォーキング研修の様子

施策3 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり

地域づくり

- ◆ 自治会町内会などの活動に関心を示した住民と地域の活動をマッチングし、地域活動の担い手を発掘
- ◆ **NEW** 「神奈川区地域づくり大学校」卒業生を対象に、新たな取組への補助や様々な人や団体とのつながりづくり等を支援
- ◆ 「かながわ支え愛プラン」第4期地域福祉保健計画の推進
 - **NEW** 活動の取組をホームページ上の特設サイトや地域情報誌に掲載する等、積極的に広報
 - **NEW** 地区の特徴を把握するためにデータ分析を行い、地域支援に活用



「第7期神奈川区地域づくり大学校」受講生による事例発表の様子

魅力発信

- ◆ 神奈川区の魅力資産をまとめた「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベント等を開催
- ◆ 商店街スタンプラリーを開催し、店舗を巡ることで商店街の魅力を発見し、コミュニティの活性化を促進
- ◆ 旧東海道歴史史跡等を活用したイベントを開催
- ◆ タブレットを活用した小学生向けのエコ出前教室の開催
- ◆ 地域美化活動「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施
- ◆ 家庭で不要になった未開封食品を必要な人に届けるフードドライブを推進



「わが町 かながわ とっておき」写真コンテスト
令和3年度小中学生部門最優秀賞
『アンコと思い出が詰まった駄菓子屋さん』

区と局が連携して取り組む事業例



出前教室の様子

脱炭素化につながる事業を行います 【温暖化対策統括本部】

タブレットを活用した小学生向け出前教室を開催します。また、地域活動における脱炭素化の取組に関する講座を、「神奈川区地域づくり大学校」において実施します。

信頼される区役所づくりに取り組みます

- CS向上研修などを実施し、区役所職員の一層のスキルアップを図ります。
- 窓口の混雑状況をWeb上で確認できるサービスの提供やデジタルサイネージを活用したご案内をしています。



窓口の混雑状況Web画面



令和4年度 神奈川区編成予算 総括

1 区別総括表

(単位：千円)

| | 4年度予算額 | 3年度予算額 | 差 引 |
|-------------------|---------|---------|---------|
| (1) 自主企画事業費 | 106,339 | 106,681 | △ 342 |
| (2) 統合事務事業費 | 48,513 | 48,560 | △ 47 |
| 統合事務費 ※1 | 28,053 | 28,072 | △ 19 |
| 統合事業費 ※2 | 20,460 | 20,488 | △ 28 |
| (3) 区庁舎・区民利用施設管理費 | 584,162 | 585,729 | △ 1,567 |
| 合 計 | 739,014 | 740,970 | △ 1,956 |

※1…局事業に係る事務費(人件費除く)

※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 106,339千円 (3年度 106,681千円) 差引 △342千円

(単位：千円)

| 区 分 | 4年度予算額 | 3年度予算額 | 差 引 | 増減理由 |
|--------------------------|---------|---------|---------|--|
| 3つの施策 | | | | |
| I 安全・安心なまちづくり | 33,466 | 36,763 | △ 3,297 | 地域防災力向上事業(入江川第二派川の水位計等の設置完了)の減等 |
| II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり | 26,746 | 25,269 | 1,477 | かながわ安心子育て支援事業(ファミリーサポート事業)及び認可保育所等対応力向上支援事業の増等 |
| III 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり | 35,133 | 34,267 | 866 | 神奈川区温暖化対策関連事業かながわエコスクラム事業(緑化推進事業)の増等 |
| IV 信頼される区役所づくり | 10,994 | 10,382 | 612 | チーム神奈川おもてなし事業(庁舎案内整備費)の増 |
| 合 計 | 106,339 | 106,681 | △ 342 | (32事業) |

(2) 統合事務事業費 48,513千円 (3年度 48,560千円) 差引 △47千円

(単位：千円)

| 区 分 | 4年度予算額 | 3年度予算額 | 差 引 |
|-------------|--------|--------|------|
| 統合事務費 | 28,053 | 28,072 | △ 19 |
| 統合事業費 (8事業) | 20,460 | 20,488 | △ 28 |
| 合 計 | 48,513 | 48,560 | △ 47 |

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 584,162千円 (3年度 585,729千円) 差引 △1,567千円

(単位：千円)

| 区 分 | 4年度予算額 | 3年度予算額 | 差 引 |
|---------------------|---------|---------|---------|
| 1 区庁舎 | 78,901 | 81,064 | △ 2,163 |
| 2 土木事務所 | 8,535 | 8,368 | 167 |
| 3 公会堂 | 35,499 | 35,499 | 0 |
| 4 地区センター、集会所、スポーツ会館 | 196,728 | 196,811 | △ 83 |
| 5 ログハウス | 8,201 | 8,201 | 0 |
| 6 区民文化センター | 115,371 | 115,371 | 0 |
| 7 老人福祉センター | 25,446 | 25,682 | △ 236 |
| 8 コミュニティハウス | 54,252 | 54,252 | 0 |
| 9 スポーツセンター | 51,484 | 51,601 | △ 117 |
| 10 広場・遊び場 | 1,346 | 1,380 | △ 34 |
| 11 区庁舎・区民利用施設修繕費 | 8,399 | 7,500 | 899 |
| 合 計 | 584,162 | 585,729 | △ 1,567 |

～令和4年度 神奈川区自主企画事業等執行状況～

I 安全・安心なまちづくり 33,466千円（3年度36,763千円）

- 1 地域防災力向上事業 重点
- 2 神奈川区防犯対策事業 重点
- 3 放置自転車対策事業
- 4 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）
- ② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ⑥ 市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）
- ⑦ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）
- ⑧ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑨ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ⑩ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑪ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑫ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑬ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

1 地域防災力向上事業

23,428 千円（3年度 26,357 千円）

☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進するとともに、防災への関心を高めるため、次世代・多世代に対する啓発を進めます。また、地域、医療機関等と連携して地域防災力の向上を図ります。

(1) 地域防災力の強化

ア 自助の推進

(ア) 窓ガラス飛散防止普及啓発事業（通年）

大地震、風水害時に窓ガラスの破損による負傷を防ぎ、自宅で避難生活を送ることができるよう、日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置を促進（申請：28件）

(イ) 乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業（通年）

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう、家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布（耐震ジェルマット2,000個作成、4月から配布）

(ウ) 防災アドバイザー派遣事業（申請：8件）

(エ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等（通年）



窓ガラス飛散防止フィルム
施工作業

イ 共助の推進

(ア) 「共助の取組」支援セミナー【新規】（7月29日、30日）

自治会・町内会等の防災担当者を対象に、防災の専門家を招いたセミナーを実施

(イ) 地域防災拠点の機能強化（通年）

運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂支援、地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）

(ウ) 共助推進事業（申請：10団体）

町の防災組織が実施する防災活動や防災資機材購入にかかる費用を補助



運営委員向け防災講座

ウ 次世代への防災教育

中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援（通年）

エ 多世代の防災意識向上

区PTA連絡協議会と協力し、子育て世代向け防災ガイドを活用した防災意識向上の取組などを実施（通年）

オ 神奈川県内鉄道事業者等による災害対策検討会議

（7月27日）

カ 新子安・子安通1丁目・入江地区及び神奈川県臨海部防災協議会（10月）



中学生向け防災ガイド

(2) 区役所災害対応力の強化

ア 職員向け訓練・研修

- (ア) 転入職員向け研修、即応班研修（4月12日、15日、19日）
 - (イ) 風水害避難場所運営訓練（7月26日）
 - (ウ) 地域防災拠点参加等研修（7月1日、5日）
 - (エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月25日）
 - (オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月）
 - (カ) 区本部各班訓練（通年）
- イ 区本部運営に必要な物資の整備（通年）

(3) 医療初動体制の整備

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川県災害医療連絡会議（10月、12月）

イ 災害医療の訓練や区民啓発

- (ア) 区災害医療訓練（11月）
- (イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（年4回）
- (ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施（随時）
- (エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練の実施（9月）
- (オ) 他区との通信訓練（鶴見区と合同開催）（中止）
- (カ) Yナース募集広報区版（8月）

(4) 災害時要援護者支援事業《令和4年8月末現在 名簿提供団体：109団体》

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図ります。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援します。

ア 新規協定締結の促進

- (ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）
- (イ) 災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報保護と活用に関する研修会（8月）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

(5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）の運営体制の強化を図るべく、避難所協定締結施設を対象とした連絡会・研修会を開催します。

ア 福祉避難所運営体制の整備

《令和4年8月末現在 福祉避難所協定締結数：21施設》

- (ア) 福祉避難所協定締結施設向け連絡会（11月、2月予定）
- (イ) 福祉避難所協定締結施設向け研修会（12月予定）
- (ウ) 福祉避難所情報共有システムを活用した開設情報等受伝達訓練（11月、2月予定）
- (エ) 福祉避難所の備蓄品等の整備（エアベッド、充電式エアコンプレッサ 12月配布予定）

(6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援（通年）

- (ア) 地域防災拠点運営委員会総会（5月20日開催）及び運営委員会向け研修（基礎編：6月24日、25日開催）にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- (イ) 「神奈川県地域防災拠点におけるペット同行避難対応ガイドライン（令和元年9月改訂）」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援
- (ウ) 具体的な対策の検討を進めている拠点数か所に対し、その地域のペットの飼い主の意識調査を行い、実際に飼育管理を行うことになる飼い主の考えを参考にするとともに、必要に応じ専門家のアドバイスを得ながら各拠点での一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援
- (エ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施
- (オ) 専門家等による講演会の実施

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発（通年）

- (ア) 広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知（令和4年7月号）
- (イ) 地域防災拠点や区民まつり等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施（6月27日～7月1日 区民ホール内にてパネル展示実施）
- (ウ) 「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を窓口等で配布



地域防災拠点でのペット同行避難訓練

2 神奈川県防犯対策事業 5,078 千円 (3年度 5,426 千円)

☆重点事業

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等とも連携を図りながら情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進します。

特に、特殊詐欺の犯人が嫌う「声の録音」を自動で行う「迷惑電話防止機能付電話録音機」の普及促進を重点的に進め、区内の特殊詐欺撲滅を目指します。

(1) 住みよいまちづくり活動 (21 地区連合町内会の防犯活動支援)

地域活動を促進し住みよいまちづくりにつなげるため、助成金を交付

(2) 防犯活動啓発事業

ア 防犯情報メールの配信 (通年)、広報よこはま区版等への掲載 (5月、6月)

イ 地域への防犯活動グッズ (帽子・ベスト・のぼり旗等) の配布 (通年)



帽子



メッシュベスト



特殊詐欺のぼり旗

ウ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発

(3) 特殊詐欺撲滅対策

ア 地域へのパトロール用物品等の支給、区民への啓発物品の配布 (通年)

イ 迷惑電話防止機能付電話録音機の無償貸出 (7月21日(木)から募集開始)



迷惑電話防止機能付電話録音機



区役所での「サギ撲滅キャンペーン」

3 放置自転車対策事業 700 千円（3年度 700 千円）

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図ります。

(1) 自転車マナーアップ事業

- ア 広報よこはま区版等を用いた駐輪場の利用促進啓発
- イ 自転車利用のマナーアップ啓発（通年）

(2) 自転車等放置防止推進協議会への助成

- ア 各禁止区域の協議会に対する活動費助成

4 交通安全対策事業 4,260 千円（3年度 4,280 千円）

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図ります。また、路側帯のカラー化などの安全対策を行い、歩行者環境の改善を図ります。

(1) 交通安全啓発事業

- ア 交通安全教室の開催
希望する小・中学校や自治会町内会を対象に実施
(小学校 19 校実施、中学校 1 校程度、
自治会町内会 (親子三代自転車教室実施 6 月 26 日))
- イ 交通安全チラシおよび啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用



入江地区自治会親子三代自転車教室(6月26日)



警察と連携した交通安全啓発キャンペーン(7月14日)

(2) 神奈川区交通安全対策協議会事業

- 神奈川区交通安全対策協議会、交通安全功労者表彰の実施（4月28日）

(3) 児童通学路整備事業

- ア スクールゾーン対策協議会活動の支援（通年）
- イ 通学路内の路面標示の補修（通年）

(4) 交通安全対策工事

- 路面標示・標識の設置、補修等（通年）



通学路 路面標示の補修

神奈川区内まちづくり関連予算

① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

相鉄・JR直通線（西谷～羽沢横浜国大）は、令和元年11月30日に開業しました。
相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大～日吉）は、令和5年3月の開業に向けて、工事や開業準備を進めます。

② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和5年度末のしゅん工を目指し、令和4年度は、引き続き、建築工事を進めます。

③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和3年度は、基盤整備や移転補償、埋立工事を実施しました。

令和4年度も、引き続き基盤整備や埋立工事を進めており、地区内の建築工事も始まりました。

④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和3年度は、「横浜市空家等に係る適切な管理、措置等に関する条例」の施行（8月1日）に伴い、更なる管理不全な空家の解消に向け、区局が連携し取組を強化しました。

令和4年度は、所有者調査委託等の従前の取組に加え、区が行う管理不全な空家等の初期対応の委託をモデル実施しており、より効率的かつ有効な管理不全な空家等の解消に向けた検討を進めています。

⑥ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）

横浜市自転車活用推進計画の「いかす」施策に基づき、公共交通の機能補完等を目的とした横浜市内広域でのシェアサイクル事業の社会実験（令和4年6月10日～令和7年3月31日）を民間事業者と協働で実施しています。神奈川区は先行的に事業を展開する重点展開区として位置づけられています。

⑦ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）

菅田の丘小学校は令和3年4月に、旧池上小学校と旧菅田小学校の統合校として開校しています。菅田の丘小学校の新校舎は旧池上小学校の敷地に令和4～5年度に整備を行い、令和6年度以降、新校舎に移転する計画としています。

二谷小学校については、最も古い校舎が目標耐用年数の築70年に迫っているため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替えを検討しています。検討にあたっては、近隣の斎藤分小学校が小規模校であるため、学校統合の検討を学校規模適正化等検討部会において進めています。

⑧ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

応急復旧活動拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めています。令和4年度は旧池上小学校や済生会神奈川県病院などの下水道管きょ耐震化を11月に完了予定です。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和45年頃にかけて布設された古い下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和4年度は寺尾子安などで工事を施工中です。

⑨ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和4年度は富家町公園で実施を予定しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和4年度は片倉うさぎ山公園、山王森公園などで実施を予定しています。

⑩ 道路維持修繕事業（道路局区配）

片倉二丁目（主要地方道横浜生田）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図ります。

⑪ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、関係地権者と用地交渉を進め、早期取得、早期完成を目指します。

⑫ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めています。引き続きバリアフリー化に向けた整備を行うとともに、損傷した誘導ブロックの補修工事を行います。

⑬ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

学校統合に伴う通学安全対策として、交差点等の道路拡幅及び歩道設置を進め、早期完成を目指します。

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 26,746千円

(3年度 25,269千円)

- 5 介護予防・高齢者支援事業 **重点**
- 6 かながわ子育てかめっ子支援事業 **重点**
- 7 かながわ安心子育て支援事業 **重点**
- 8 地域活動支援事業
- 9 スポーツ振興事業
- 10 青少年育成費
- 11 ふれあい活動支援事業
- 12 かながわ健康づくり応援事業
- 13 民生委員・児童委員活動支援事業
- 14 障害者支援事業
- 15 市立保育所地域交流事業
- 16 放課後児童健全育成連携強化事業
- 17 認可保育所等対応力向上支援事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑭ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）
- ⑮ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）
- ⑯ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑲ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑳ DV対策事業（こども青少年局区配）
- ㉑ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）
- ㉒ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）
- ㉓ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ㉔ 自殺対策事業（健康福祉局区配）
- ㉕ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ㉖ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ㉗ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ㉘ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

5 介護予防・高齢者支援事業 4,133千円（3年度 4,083千円） ☆重点事業

高齢・障害支援課

新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者のフレイルが課題となっています。令和4年度は、新たな取組を取り入れながら、介護予防を普及啓発します。また、認知症高齢者を支援する施策に取り組みます。地域ケアプラザと協働し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。

(1) 介護予防普及啓発事業

①高齢者の外出を促し、②高齢者の健康への意識を高め、③地域での様々な健康づくりの活動を再活性化させるべく、地域包括支援センターとも協力し事業を展開します。

ア 健康行動の「継続」につながる物品の作成・配布

(ア) 体にいいこと手帳、「つながる」絵葉書セットなど【新規】(10月から配布開始予定)

(イ) 介護予防出張講座や元気づくりステーション、地域サロンなどの地域活動への参加者を増やし、さらに参加者の健康行動の「継続」を促進

イ 体力測定 de 健康アップ講座の開催（4月～通年）

ウ 健康アップ協力隊への継続した支援

(ア) スキルアップ研修会の実施（5月30日、6月9日）

(イ) かめ亀手ぬぐいサイズ（神奈川区オリジナル介護予防体操）の普及、活用

(ウ) 神奈川区版シニア通信の発行（2月）



神奈川区オリジナル介護予防体操
「かめ亀手ぬぐいサイズ」

(2) 認知症高齢者支援事業

認知症サポーターや、キャラバン・メイトをはじめとした地域の人材育成を行い、各種取組を推進します。

ア 認知症への理解を促進する広報印刷物の発行（1月）

イ 認知症高齢者みまもり協力店の普及展開

(ア) みまもり協力店の登録（随時）

(イ) オレンジ連絡会（みまもり協力店スキルアップ、キャラバン・メイト交流）（10月）

ウ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配布（随時）

エ キャラバン・メイト事務局会議の実施（通年）



認知症高齢者見守り協力店
スキルアップ研修
（令和3年度）

(3) 地域包括ケア推進事業

横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けた取組を推進します。

ア 地域包括支援センターで開催する地域ケア会議のスキルアップ

地域ケア会議連絡会の開催（8月）

イ 医療と介護の連携

専門職連携検討会の開催（7月、10月）

⑭ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）

- ・地域包括ケア推進事業（健康福祉局事業）
地域包括ケアシステム構築に向け、区レベル地域ケア会議の開催等を通じて推進します。
- ・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）
区社会福祉協議会と地域ケアプラザ等に配置した「生活支援コーディネーター」を中心に、高齢者の生活支援、介護予防・社会参加が充実した地域づくりを支援します。
- ・介護予防・生活支援サービス事業（健康福祉局事業）
介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業です。従来
の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金
を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。
- ・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）
横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅
介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か
所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。
- ・在宅医療推進のための人材育成（医療局事業）
ACPの概念を正しく理解し、適切に市民の方に伝えられる人材を育成するなど
在宅利用を推進するための人材を育成するための研修を行います。

⑮ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）

- ・元気づくりステーション事業
介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグルー
プ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支
援をします。（区内24か所）
*内容：体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など
- ・地域介護予防活動支援事業
地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを
実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワ
ーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」など
を展開します。

⑯ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

- ・神奈川区認知症高齢者等 SOS ネットワーク
認知症のある方等を事前登録することで、行方不明になった際、区役所・地域ケ
アプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早
くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。・横浜市認知症高齢者等見守りシ
ール事業（健康福祉局事業）
徘徊によって行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れ
るよう、「横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣
服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見
者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。
- ・認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）
医療や介護サービス等につながない認知症の方や疑いのある40歳以上
の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動
機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行います。

6 かながわ子育てかめっ子支援事業 4,742 千円（3年度 4,500 千円） ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援します。

(1) 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催（年 12 回）（5月から8月まで月1回実施済）

(2) 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校で0歳児の母子の協力を得て、児童が乳児と接する機会づくりを実施（1校）

(3) 養育ネットワーク事業

0歳児の育児教室を実施（区内 16 か所 月 1 回程度）

(4) 外遊び活動支援事業

ア 外遊び体験イベント（年 3 回）

イ 外遊びネットワーク交流会（年 1 回）（11月）

ウ 外遊びの大切さを啓発するリーフレット等の作成



外遊び体験イベント（反町公園）

(5) すくすくかめっ子事業

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流（47 会場）

(6) 子育て情報提供事業

子育て応援マップ（11,000 部）、こども家庭相談案内（6,000 部）

(7) 事故予防啓発事業【新規】

ア 小児救急講演会の実施（年 1 回）

イ 事故予防啓発物品の作成（誤飲予防啓発うちわ 2,000 部）



誤飲予防啓発うちわ

⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。

参考：令和4年4月～令和4年6月の実績 訪問員 58 人、訪問件数 485 件

⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」（NPO法人 親がめが運営）があります。

参考：令和4年4月～令和4年6月の実績 利用者数 延べ3,861人

7 かながわ安心子育て支援事業 2,641 千円（3年度 1,385 千円） ☆重点事業

こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みます。また、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援します。

(1) 児童虐待防止対策事業

ア 子育て講演会（年1回）

2歳児の保護者向けに子育ての具体的な方法についての講演会を、感染拡大防止対策をとりながら実施

イ 虐待リスクのある対象者への支援【拡充】

(ア) 第1子を対象とした新生児訪問に加え、新たに不安の強い第2子以降への家庭訪問等を実施

(イ) 乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を丁寧に行い支援につなぐ

(2) 親支援プログラム【拡充】

子育ての不安や悩みを持つ保護者に対し、ノウハウを具体的に学べる講座を実施（年3回）

（6～7月、10～11月、1～2月）

(3) 子育て支援教室

親子教室に来ている2歳児の保護者に向けた学習会を実施（年3回：6月10日、10月、2月）

(4) ひとり親家庭相談支援事業【拡充】

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（相談日数の増）

(5) ファミリーサポート事業【新規】

不適切養育のおそれのある就学後児童の養育者に対し、グループミーティングを実施

（年12回）（8月まで月1回実施済）

(6) 虐待対応に関わる専門職の対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例の増加に対応するため、関係者のスキルアップや精神的な負担を軽減するためのスーパーバイザーによる事例検討等を実施（年1回）（2月）

(7) DV対応に関わる専門職の対応力強化

DV・児童虐待被害者への対応力強化のため専門職のスキルアップに向けたスーパーバイザーによる事例検討等を実施（年2回：7月1日、1月）

⑲ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

⑳ DV対策事業（こども青少年局区配）

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

㉑ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）

養育環境に課題がある子どもを対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施します。

8 地域活動支援事業 3,432 千円（3年度 3,469 千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

(1) 自治会町内会長感謝会（3月）

- ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施
- イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施

(2) 自治会町内会配達業務

各自治会町内会に月1回（8月・12月を除く）回覧・掲出依頼物などを配達

(3) 自治会町内会加入促進事業

- ア 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布（通年）
- イ 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援（通年）

9 スポーツ振興事業 1,150 千円（3年度 1,070 千円）

地域振興課

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援します。

(1) 区民大会等各種事業補助

- ア 各種スポーツ大会、講習会の支援
野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き

(2) トップスポーツチームとの連携事業

神奈川区にゆかりのあるプロスポーツチームと連携しスポーツ教室等を実施（年1回）

10 青少年育成費 542 千円（3年度 542 千円）

地域振興課

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年がいきいきと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して、関係団体の活動を支援します。

(1) 青少年活動推進事業

子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業への支援（通年）

(2) 青少年パワー発揮事業

ア B-SKY FES2022

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント実施（9月）

11 ふれあい活動支援事業 2,014 千円（3年度 1,819 千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活のなかで気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

(1) 全体研修会・全体会議

ア ふれあい活動員全員を対象とする研修会（12月）

イ 各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議（年1回）

(2) ふれあい活動支援

ふれあい活動支援補助金の交付

⑳ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげます。

《令和4年度 対象者数》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,153人

75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 1,079人

12 かながわ健康づくり応援事業 2,514 千円（3年度 2,083 千円） 福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体等と連携し、健康づくり活動を展開します。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業（保健活動推進員等と協働）

ア ウォーキングイベント

- (ア) 保健活動推進員等と協働したウォーキング研修
(1月)、ウォーキングイベント（3月）
- (イ) 保健活動推進員等が主催する地区におけるウォーキング開催支援（随時）



ウォーキング研修

(2) 健康づくり推進事業

ア 区庁舎内常設健康チェック・情報コーナー

- (ア) コーナーを活用した健康相談の実施（年10回）
- (イ) 関係機関・団体等の健康づくり活動情報の充実

イ 地域における健康づくり活動の支援

歯周病予防・オーラルフレイル*予防をテーマとした歯科出前講座の開催（年8回）

※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態

ウ 働き・子育て世代の健康づくり

両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施（12コース）

エ 感染症予防

区民への感染症予防に関する啓発研修の開催



健康チェック・情報コーナー

(3) 食育普及事業

ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進

栄養士、養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会（年2回）、食育展（年1回）の実施

イ 食育関連講座

- (ア) 学校等との協働により出前食育講座を実施（年2回）
- (イ) ヘルスマイトとの協働による食育の普及（年3回）
- (ウ) 3歳児健康診査での食育ミニ講座（年24回）



食育展（区庁舎1階ホール）

⑬ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

第2期健康横浜21計画の中間評価の結果を踏まえ「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の5つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指します。

13 民生委員・児童委員活動支援事業 944千円（3年度1,043千円） 福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

(1) 訪問活動

ア 訪問活動用物品の購入

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入
(ポケットティッシュ 23,471個 9月配布予定)

イ 民生委員活動に使用する物品の購入

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、訪問活動に不安を覚える民生委員が多いため、安心して活動を行えるよう訪問の際に民生委員が使用することの出来る物品を購入
(マスク 1,750枚 8月配布)

(2) 広報・研修

ア 広報リーフレットの増刷

民生委員の役割や活動内容等をPRするちらしを増刷し、区民まつり等地域で配布

イ 新任委員研修

令和4年12月の一斉改選で新たに委嘱された委員を対象に、民生委員・児童委員の心構えや活動に必要な知識を学ぶ研修を実施（年1回）



14 障害者支援事業 1,933千円（3年度1,117千円）

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援します。

(1) 障害者地域作業所等の活動支援

ア 花のデリバリー

フラワーアレンジメントの配達を委託
(通年 48週)



障害者週間啓発販売

イ 障害者地域作業所等の活動支援

- (ア) 自主製品紹介ガイドブック発行(12月)【新規】
- (イ) 区役所販売支援(通年・週1回程度)、障害者週間(12月)等での啓発
- (ウ) 反町駅前ふれあいサロン等での自主製品展示を支援(通年)



自主製品展示(別館玄関)

(2) 障害児者の健康づくり支援

ア 歯科口腔ケア講習会

障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケアの支援者向け講習会(年2回、7月アンケート実施)

(3) 関係機関との連携支援

ア 精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

- (ア) 関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催(年1回)
- (イ) 神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催(障害者地域自立支援協議会各部会会議)
- (ウ) 生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催(随時)

(4) ひきこもり状態にある人への支援

ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催(12月)

㊤ 自殺対策事業(健康福祉局区配)

自殺対策強化月間(9月)を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組めます。

自殺予防リーフレット配布。広報よこはま区版9月号、3月号に掲載。

15 市立保育所地域交流事業 1,758千円（3年度1,858千円）

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

(1) 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食（200食程度）、地域の親子を対象にランチ交流（100食程度）を実施

(2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施

(3) 保育施設等情報パンフレット作成

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成
（10,000部）



施設開放

(4) 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会（年6回）等を行い、保育の質の向上を図ります。

②⑤ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やします。

②⑥ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

②⑦ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

【令和4年4月開所】

- ・グローバルキッズ新子安第二保育園（新子安1丁目） 定員60人
- ・反町ひかり保育園（広台太田町） 定員60人
- ※反町ひかり保育園は横浜保育室（入江町保育園）が認可保育園へ移行

16 放課後児童健全育成連携強化事業 382 千円（3年度 300 千円） こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの運営主体や職員に対する研修を実施することにより、クラブ相互間の連携と安定運営を促進します。また、人材育成を通じ、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを目指し、放課後事業の質の向上を図ります。

(1) 集合研修

| 研修名 | 対象者 | 内容 | 実施時期 |
|--------|------------|-------------------|------|
| 養育支援 | 職員等 | 児童虐待等への対応 | 6月 |
| 感染症対応 | 職員等 | 感染症の予防及び発生した場合の対応 | 11月 |
| クレーム対応 | 職員 運営主体 | 対応に苦慮する方との関わり方 | 12月 |

(2) 出前研修（3テーマ、計6クラブ程度）【拡充】（テーマ数を2から3、クラブ数を4から6に増）

| 講座名 | 対象者 | 内容 | 実施時期 |
|--------------------|------------|-----------------------------------|------------|
| 安全対策、経理 労務、パソコン | 職員 運営主体 | 労務管理や運営費の経理処理、施設の安全管理や災害時の対策等について | 6月～ 11月 |

【対象】放課後児童健全育成事業クラブ数（令和4年8月末現在）

放課後キッズクラブ 18 か所、放課後児童クラブ 17 か所

研修の様子



集合研修



出前研修

⑳ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を実施します。

17 認可保育所等対応力向上支援事業 561 千円（新規） こども家庭支援課

施設を対象に、保育所等で発生しやすいトラブルや判例などを知り、トラブルを未然に防ぐための予防策や対応のノウハウを習得するため、研修を実施します。（8月22日）

Ⅲ 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり 35,133 千円

(3年度 34,267 千円)

- 18 地域力アップ推進事業 重点
- 19 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- 20 地域福祉保健活動推進・支援事業 重点
- 21 かながわ魅力発信事業
- 22 区民協議会支援事業
- 23 かながわエコスクラム事業
- 24 まちづくり推進事業
- 25 わが町かながわ商店街魅力発信事業
- 26 神奈川区民まつり
- 27 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- 28 文化活動支援事業
- 29 区民活動・生涯学習支援事業
- 30 動物適正飼育推進事業
- 31 花いっぱい事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ②⑨ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ③⑩ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ③⑪ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ③⑫ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ③⑬ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）
- ③⑭ 脱炭素化プラス事業（温暖化対策統括本部区配）
- ③⑮ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ③⑯ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ③⑰ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ③⑱ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

18 地域力アップ推進事業 2,027千円(3年度 3,400千円) ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めます。

(1) 地域人材マッチング事業(通年)

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援します。

ア 地域活動の担い手の掘り起こしを目的に、自治会町内会が実施するアンケートの検討・作成支援(宮向自治会)

イ アンケートにおいて地域活動に関心を示した住民が、自治会町内会とつながりを持つための交流会等の実施支援(神大寺地区自治連合会、高島台町内会)

(2) 地域情報の発信(通年)

区内で行われている特色ある地域活動の事例を広く区民に紹介する情報紙「地域のわ通信」の発行(通年)



「地域のわ通信」の発行

(3) 地域づくり大学校卒業生支援事業【新規】

地域づくり大学校の卒業生を対象に、新たな取組への補助や様々な人や団体とのつながりづくり等を支援

ア かながわ地域支援補助金事業(地域づくり大学校卒業生支援コース)

イ 地域づくり大学校交流会の開催(年2回)

⑲ 元気な地域づくり推進事業(市民局区配)

区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施します。

また、自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や区民の自主的な地域活動を支援する「かながわ地域支援補助金」事業(前年度からの継続団体のみ対象)を行います。

・協働の「地域づくり大学校」事業

・かながわ地域支援補助金事業

(スタートアップコース、自治会町内会スクラムコース)

19 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

2,133 千円（3年度 2,133 千円）

☆重点事業

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みます。

(1) 神奈川区資産の活用

ア 「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベントの開催等

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々で組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援します。

なお、企画にあたっては、新たにICTの活用を検討します。

<具体的事業>

- ・「わが町かながわとっておき」専用ホームページを令和3年度地域づくり大学の卒業生と協働して作成し、新たな魅力発信を実施
- ・小学生を対象として「まち自慢新聞コンテスト」を実施

イ 「わが町 かながわ とっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

「海と緑と丘のまち神奈川区」の魅力を表現する写真を小中学生、一般より募集し、入賞作品を用いた魅力発信を行います。（8月～3月）



第13回「わが町かながわとっておき」写真コンテスト（令和3年度）
【小中学生部門】最優秀作品

(2) 看板の維持管理

「わが町 かながわ 50選」案内看板の現況確認を実施し、必要に応じて補修を行い、適切に維持管理します。（通年）



案内看板の一例

20 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,891千円（3年度4,601千円） ☆重点事業

福祉保健課

新型コロナウイルス感染症の影響により当初の策定期限を1年間延長した「かながわ支え愛プラン（第4期 神奈川区地域福祉保健計画）」が完成したことから、区民、活動団体、施設、区社会福祉協議会・地域ケアプラザなどの関係機関と協働して推進していきます。

第4期計画の推進にあたり、計画の周知を重点的に行うとともに、毎年の振り返りを行い、取組の達成度合いや課題を共有することで、次年度の取組に活かすなど、地域の実情に合わせた支援方法についても検討していきます。

(1) 区計画の推進

ア 区計画の周知

(ア) 地域活動の取組を地域情報誌（紙面）やホームページ上特設サイトへ掲載

(イ) 区計画の概要版の更新・発行

イ 区計画の推進

(ア) 区計画の推進・進捗確認のために意見交換をする場となる

「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（年3回）

(イ) 計画策定アドバイザーを活用した推進方法の検討（通年）



かながわ支え愛プラン
（第4期地域福祉保健計画）

(2) 地区別計画の推進

ア 各地区の特徴を把握するためのデータ分析（通年）

イ 地区別計画を推進するために地域ケアプラザごとに研修を実施

ウ 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による21地区支援（通年）

エ 各地区において、取組の達成度合いや課題を共有し、今後の進め方について地区別計画推進会議など話し合う場の開催を支援（地区ごとに年2～3回）

オ 地区別計画情報交換会の開催（1月）

カ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月）

21 かながわ魅力発信事業 4,594千円（3年度3,889千円）

区政推進課

区民ニーズをとらえ、区の情報を効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信します。

(1) 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供

(2) 区民生活マップの発行

日本語版 13,000部

(3) 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用

区民等へ着ぐるみの貸出やイラスト（素材）の提供

(4) 区の花「チューリップ」の植栽、写生画展の開催

ア 区内小学生を対象として写生画展を開催、受賞作品を神奈川図書館等で展示（8月）

神奈川図書館 8月10日～17日

かなっくホール 8月23日～29日

イ 区内小学校に球根を配付（11月）



令和4年度チューリップ写生画展
（かなっくホール ギャラリーB）

(5) 歴史活用事業

ア 旧東海道歴史史跡等を活用したイベントの実施（11～12月実施予定）

イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報（通年）

ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新（通年）

③⑩ 緑化推進事業（環境創造局区配）

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配付

22 区民協議会支援事業 427千円（3年度566千円）

区政推進課

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動（運営委員会、各部会、区民のつどい、地域のつどいなどの会議・行事）に対して支援を行います。

(1) 機関紙「こぶし」発行（年2回）

(2) 区民のつどいの開催（秋頃予定）

23 かながわエコスクラム事業 1,759千円（3年度768千円）

区政推進課

区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、温暖化対策を推進します。

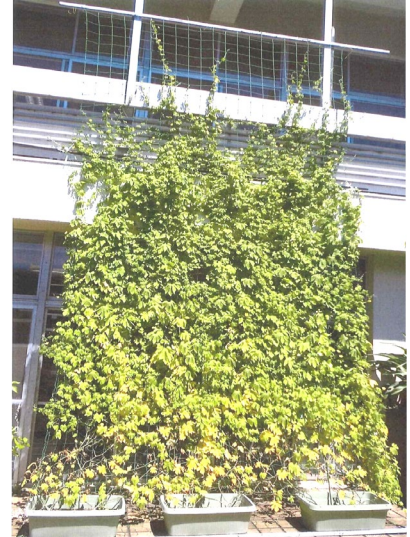
エコ講座や緑のカーテンの普及啓発、地産地消推進等の取組を進めます。

(1) エコ活啓発事業【拡充】

- ア タブレットを活用した小学生向け出前教室の開催（1～3校）
- イ カーボンオフセットへの取組の支援・PR
- ウ エコパートナー協定に基づいた横浜FC協働事業
かながわ区民DAY出展（5月29日）

(2) 緑化推進事業【拡充】

- ア 区内公共施設、私立保育所等での緑のカーテンの普及啓発（31施設）
- イ 区役所での緑のカーテン設置（5月～10月）
- ウ 区民向け緑のカーテンの普及啓発
（緑のカーテン用ゴーヤ種の配布 200人）



緑のカーテン育成の様子
（幸ヶ谷公園コミュニティハウス）

(3) 地産地消推進事業

- ア 区内産野菜等の出張販売の実施（年2回）
（5/29 かながわ区民DAYにて実施）
- イ 直売所マップを活用したウォーキングイベントの実施（年2回）
- ウ 直売所マップ集やレシピ集などを活用した地産地消の魅力発信（通年）
- エ 野菜の他、花きなど区内産農産物のPR

③① 緑化推進事業（環境創造局区配）

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みます。
・小学校・保育所に緑のカーテンを設置（18施設）

③② 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）

イベント等の際に区の丘陵部で行われている農業と地産地消の魅力を知ってもらうための啓発物等を作成します。

③③ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）

市内産のシクラメン等を区庁舎に置き、区内で花きが生産されていることをPRします。

③④ 脱炭素化プラス事業（温暖化対策統括本部区配）

エコ活啓発事業のタブレットを活用した小学生向け出前教室について、実施校を追加して開催します（1～2校）。

また、地域活動における脱炭素化の取組に関する講座を、地域づくり大学校において実施します。

24 まちづくり推進事業 6,045 千円 (3年度 5,490 千円)

区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指すため、各地域の特性や課題を把握し、魅力あるまちづくりを進めます。

(1) 企画調整・まちづくり事業

新たに生じるニーズや緊急性の高い課題に対応する施策の計画立案のため、区内の実態を的確に把握する調査を行います。また、令和3年度に引き続き、西菅田団地の活性化に向けたまちづくり支援を行います。(通年)

(2) 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。(通年)

25 わが町かながわ商店街魅力発信事業 2,010 千円 (3年度 2,010 千円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図ります。

(1) 商店街ラリー事業

神奈川県内の商店街のお店からエントリーされた商品を紹介するとともに、店舗を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作ります。(11月～12月)

③⑤ 商店街活性化イベント助成事業 (経済局区配)

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

③⑥ 安全・安心な商店街づくり事業 (経済局事業)

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図ります。

26 神奈川県民まつり 4,000千円（3年度4,000千円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川県民まつりを支援します。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信で開催しましたが、令和4年度は反町公園で開催します。安全安心に配慮した開催とするため、感染対策の徹底や感染症対策に従事する方々への感謝・支援の取組を実施します。

- (1) 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- (2) 会場等の利用支援
- (3) 開催日：10月9日（日）午前10時から午後3時半まで
- (4) 開催内容：各種団体によるブース出店（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）
※感染症拡大防止のため中止：ステージプログラム、抽選会、フリーマーケット
- (5) 感染症対策：検温、消毒、マスクの着用等基本的な感染症対策の実施、LINE コロナお知らせシステムを活用した連絡先把握、掲示やアナウンス等を用いた感染対策への協力をよびかけ等



区民まつり（平成30年度）反町公園での開催の様子



区民まつり（令和3年度）動画配信での開催の様子



27 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 1,110千円（3年度1,110千円）

地域振興課

「ヨコハマ3R夢プラン」、特に3Rのリデュース（発生抑制）を推進するため、食品ロスの削減、プラごみ削減等の普及・啓発を実施します。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指します。

(1) 地域美化活動支援事業

- ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）（通年）
- イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）
（9月28日、予備日9月29日）

(2) 不法投棄防止対策事業

- ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）
- イ 地域と連携した不法投棄への対応（通年）

(3) ヨコハマ3R夢啓発事業

- ア 地域まつり等での啓発
- イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ウ 保育園や小学校等での出前授業（随時）
- エ 広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- オ 資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- カ ヨコハマ3R夢推進功労者の表彰（6月17日）
- キ リユース食器利用促進に向けた費用補助（随時）
- ク フードドライブの推進
- ケ 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発（年6回）
- コ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発



寄付受付食品(フードドライブ)

28 文化活動支援事業 1,000 千円（3年度 1,000 千円）

地域振興課

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援します。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させます。

(1) 文化協会補助金

- ア 区伝統芸能祭（民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい）（10月）
- イ 区民音楽祭（コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会（協会共催））（8月～11月）
- ウ 区文化展（洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の発表会）（2月～3月）
- エ 春のコンサート（3月）
- オ ちいさな美術館（9月～12月）

(2) 読書活動推進事業

- ア 読書活動を行っている方の講演会（12月18日開催予定）
- イ 区内関係機関と連携した企画展などの開催
- ウ かながわ湊フェスタ等での読書活動推進に向けた広報
- エ 読書活動関係機関連絡会（6月、2月開催予定）



29 区民活動・生涯学習支援事業 3,311千円（3年度3,394千円）

地域振興課

地域課題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供します。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行います。

(1) 生涯学級事業

- ア 区民向けの区民企画型講座（3学級）
- イ 運営委員対象のスキルアップ講座・交流会（年3回）

(2) 区民活動支援センター事業

- ア 相談・支援等
 - (ア) ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク(人財バンク)を活用したコーディネート
 - (イ) 団体活動支援の一環で、活動発表の機会となる「みんなの文化祭」を開催（年6回）
- イ 担い手発掘・育成
 - (ア) 区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（4講座）
 - (イ) 助っ人バンク活用の市民活動・地域活動体験講座として「助っ人バンク講座」を開催（年2回）
 - (ウ) 登録団体、助っ人バンク登録者対象のスキルアップ講座・交流会（年2回）
 - (エ) 登録団体、助っ人バンク登録者の活動を地域へPRする場としての「区民活動支援センター活動PR展」をかながわ湊フェスタと合同開催（秋頃）
- ウ 情報紙発行
 - (ア) 情報紙「ぐるーばる・あい」の発行（年6回）
- エ 地域施設間連携
 - (ア) 地域課題や情報共有などを行うため施設間連携会議の開催（年2回）
 - (イ) 地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

(3) かながわ湊フェスタ支援事業

- ア かながわ湊フェスタ 2022 の開催（11月6日予定）
 - (ア) 区内で活躍する市民活動団体等が一堂に会し、区民に対して活動PRを実施
 - (イ) 市民活動団体同士の連携による新たな活動のきっかけづくり
 - (ウ) 「区民活動支援センター活動PR展」と合同開催することにより、地域とのマッチングを促進し地域人材を発掘、育成支援
 - (エ) 神奈川区の人やまち、環境など多面的な魅力を発信し、神奈川区への愛着感を醸成

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

(1) 犬の適正飼育啓発事業

- ア 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場（中止）、窓口等で配布
啓発チラシ：2,000 枚、マナープレート：200 枚、啓発用トイレパック：1,200 パック
- イ 広報よこはま区版での啓発（令和4年7月号）

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ア 飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布やセミナー開催、神奈川区猫ボランティアの派遣などによる不妊去勢手術実施の支援等を実施
- イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器の貸出の拡充を実施
- ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- エ 飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育管理が不適切な猫の飼い主に対し、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導
- オ 広報よこはま区版での啓発（令和5年3月号予定）

(3) ペットの預け先啓発事業

飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、気象災害・火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレットにより啓発



かかりつけ動物病院啓発リーフレット

③⑦ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。
登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をします。

③⑧ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成します。

31 花いっぱい事業 1,550 千円（3年度1,550 千円）

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。

(1) 球根・花苗の配布、花壇の設置

ア 区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布し植栽を実施します。

イ 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置します。

(2) 花苗の育成

公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行います。

(3) ボランティア団体の交流の促進

土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流を促進します。



IV 信頼される区役所づくり 10,994千円（3年度10,382千円）

32 チーム神奈川おもてなし向上事業

32 チーム神奈川おもてなし向上事業 10,994千円（3年度10,382千円）

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指します。また、来庁者に利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めます。

(1) 人材育成等推進事業

ア 神奈川区を知る研修

新採用・転入者研修（4月1日、13日）

イ 職員研修

(ア) CS向上研修

(イ) 職員スキルアップ研修

(ウ) 行政対象暴力研修

(エ) 自動車等安全運転研修

(2) 人権啓発事業

ア 区職員向け研修

(ア) 責任職研修（全体：2回（8月）、グループ：各2回（8月～1月））

(イ) 職員対象研修（年7回程度 8月～1月）

イ 区民向け・関係団体向け講演会（年1回）

(3) 区民顕彰事業

スポーツ、芸術、文化等の分野において、特に顕著な功績があった方へ栄誉賞を贈ります。

(4) 来庁者等への案内整備

神奈川区への転入手続きの際に、区の様々な情報をまとめた転入者セットを配付します。また、窓口番号発券機を運用し、現在の窓口混雑状況を Web 上で確認できるサービスを提供します。

(5) 窓口等環境改善

区役所を気持ちよく利用していただけるよう、庁舎周辺の清掃を実施し、窓口周辺や待合室等の消毒や環境改善を行います。



令和5年度 神奈川区区づくり予算編成にあたっての留意点

- 新型コロナウイルス感染症と共存する社会の中で、地域活動の再開や新しい活動スタイルへの転換に向けた支援、これまでに顕在化した課題への対応など、地域の実情を柔軟に捉えて真に必要な取組を実施します。
- 高齢化や生産年齢人口の減少による地域社会の変化を見据え、デジタル技術の活用など新しい視点を持って、持続可能な区政運営を目指した取組を進めます。
- 客観的なデータ・根拠に基づき、課題や効果、効率性を徹底して検証し、事業手法を見直します。